

2018年7月12日

西日本電信電話株式会社  
一般財団法人関西観光本部  
公益社団法人関西経済連合会  
関西広域連合  
エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社

## KANSAI Wi-Fi(Official)アプリケーション利活用等による広域周遊促進に関する 連携協定の締結について

西日本電信電話株式会社（以下、NTT西日本）、一般財団法人関西観光本部（以下、関西観光本部）、公益社団法人関西経済連合会（以下、関西経済連合会）、関西広域連合、エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社（以下、NTTBP）は、本日、KANSAI Wi-Fi(Official)アプリケーション<sup>※1</sup>（以下、KANSAI Wi-Fi）の利活用等により、関西における訪日外国人等旅行客の利便性、回遊性の向上等に関する連携協定を締結します。

※1 関西観光本部が提供する関西等エリア内の無料公衆無線 LAN（以下、Free Wi-Fi）への接続を簡便化するためのアプリケーション。一度認証登録手続きを行うと、以降は当該アプリケーションに対応している関西各地の Free Wi-Fi の登録手続きは不要。2016年10月1日運用開始。

### 1. 協定締結に至った背景

関西では、2020年の訪日外国人旅行者数1,800万人<sup>※2</sup>をめざした取組みを官民一体で進めているところです。2019年G20サミット首脳会議、ラグビーワールドカップ2019、ワールドマスターズゲームズ2021関西等の国際イベントを直近に控えており、訪日外国人等旅行客の受入環境整備による利便性向上、及び地方創生等は重要な課題となっています。

この課題対応として、KANSAI Wi-Fi 利活用等により訪日外国人等旅行客の利便性を高め、広域周遊を促進することで関西地域の発展に寄与する取組みを官民協働し推進していくことといたします。

※2 KANSAI 国際観光指針 2016-2018 (<http://kansai.gr.jp/ktb/guideline.html>) より引用

### 2. 協定における主な取り組み事項

- (1) KANSAI Wi-Fi のダウンロード及び利用促進に関すること
- (2) KANSAI Wi-Fi に対応する Wi-Fi スポット整備促進に関すること
- (3) KANSAI Wi-Fi のビッグデータの利活用に関すること
- (4) その他、KANSAI Wi-Fi の利活用促進、及び KANSAI Wi-Fi 利活用等による広域周遊促進を通じて、関西地域の発展に関すること

### 3. 各社の主な役割内容

- (1) 関西観光本部、関西経済連合会、関西広域連合  
KANSAI Wi-Fi プロモーション、周遊促進に向けた各 DMO<sup>※3</sup>への働きかけ、  
KANSAI Wi-Fi 等を活用したビッグデータ分析 等
- (2) NTT 西日本、NTTBP  
上記(1)に関する技術等サポート、Wi-Fi 環境整備 等

※3 Destination Management Organization の略称。多様な関係者と協働しながら観光地域づくりの舵取り役を担う法人のこと。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、予めご了承いただくとともに、ご注意をお願いいたします。

【参考】 KANSAI Wi-Fi(Official)アプリケーションを活用したログ分析事例

## ➤ 繁体字を利用言語とする観光客の周遊動線

- 長野県から山口県の範囲の動線で、関西エリアの4府県、**京都府、大阪府、奈良県、兵庫県**に訪問が集中。
- **京都府は市内中心部の観光スポットの他、貴船・鞍馬や大原に、大阪府は箕面に、兵庫県は神戸の他、摩耶山や有馬温泉、宝塚、淡路島にも訪問**が見受けられる。
- 中国エリアについては、山陽新幹線に沿って岡山県、広島県、山口県の観光スポットへの訪問が見受けられる。

